

難したる海員家族に對し婦人部に於て連日慰問の上贈品したる救護品左の如し。  
慰問袋(前記の救急袋の内容各甲目中より「ソラ豆」を缺く)一三五個。慰問袋(小樽  
寄贈)一六個。「ビスケット」約一二四〇ポンド。サイダー四八打。寄贈品三、九〇  
五點(小樽寄贈品を含む)

### 横濱支部の活動

日本海員組合横濱支部兼非常震災海員家族救護團支部員一同は各自既に罹災者  
たるの身を以て、尙且交通の危険、飲食物の缺乏、人心の恐怖其極に達したる猛  
火灰燼の巷を奔走し、一方に於ては本部派遣の應急救護先發員並婦人慰問隊と協  
力し、海員家族の所在搜索、救護に努むると同時に、他方に於ては義勇隊及高見  
丸の活動に相待つて、救護品の揚陸、配給、避難家族の乗船案内乃至援助に對し  
連日奮闘的勢力を以て、貫徹せり。計全海員家族の乗船案内乃至援助に對し  
連日奮闘的勢力を以て、貫徹せり。計全海員家族の乗船案内乃至援助に對し  
連日奮闘的勢力を以て、貫徹せり。計全海員家族の乗船案内乃至援助に對し  
小樽出張所は京濱地方在住の罹災海員家族の慘禍救はざる可らずと爲し、熱烈